

小宝島のまつりごと

小宝島分校 3年

調べようと思ったきっかけ

- ぼくは、小さいころから、島の神社の祭りにさんかしています。でも、どうしてたくさんの祭りをするのか、ぎもんに思ったので調べようと思いました。

調べた方法

○「トカラ列島」
(著:下野 敏見)



目次

- 1 「祭り」の意味
- 2 小宝島の神様の種類
- 3 大祭りについて
- 4 七島正月について
- 5 「シチゲー」について
- 6 感想

「祭り」の意味

神として大切にあつかい，一定の場所に礼儀(れいぎ)正しくおくこと。

決められた形式の儀式を行い，神様や霊(れい)をなごやかにしずめて，いのったりねがったりすること。

小宝島の神様の種類

- 御獄（おたけ）の神。

自然の
地形に
ちなむ神

どの島でも一番高い山に
いるとされる神様。
小宝島は大きな山はないが、
オタケをまつっている。

ウネガミ



小宝島の神様の種類

自然の
森の神

- 神山 (カミヤマ)

- カミダン

- オミヤ

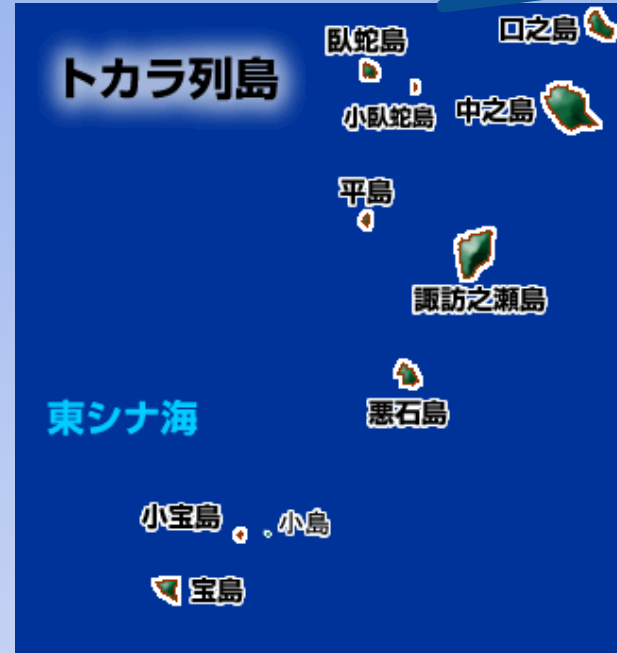
- イナゴミヤ

- ナカシマどん など

トカラ列島の神社には
ご神木はない。



薩摩川内市にある新田神社のご神木



神社には、ご神木があるところが多いが、トカラ列島の神社は、多数の木の精霊（せいれい）がただよっているという考えがあるので、ご神木がない。

家の中にまつってある神様

- **内神（ウチガミ）**

小宝島では、オモテの床の間
にまつっている。



屋内の神

※小宝島では、
「ウジガミ」とよんでいる。

家の中にまつってある神様

- **アタヤケ大明神**



平家の神

島の神「十柱」(トバシラ)の神も先祖の平家が拝み、大切にしていた神という。

家の中にまつってある神様

火の神

家の南のすみにまつる。

クイヤどん

屋敷 (やしき) の神様。

大祭りについて

- **オーマツイは年に四回ある。**
 - ① **旧二月…年の初めの祭り**
 - ② **旧四月…麦の祭り**
 - ③ **旧六月…アワの祭り**
 - ④ **旧十一月…ハタケイモの祭り**

昔の大祭りについて

昔は小宝島にある神社一つ一つを1日もかけて回ってお参りをしていたり、それぞれの家にごちそうを用意してかく家を回っていたりした。

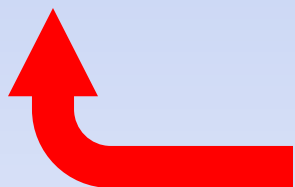
今は小宝神社に神様が集まってまつられている。神様がまつられている場所に全部行ったことはないけれど、小宝島の神様がまつられている全部の場所を一つ一つ回ってお参りをするのは「大変ですごいな。」と思った。

トカラ列島に三回あるお正月

七島
正月

新正月

旧正月



他の場所にはない、
トカラどくとくの正月。



七島
正月

旧曆12月1日~12月6日

新正月

旧曆1月1日

旧正月

新曆1月1日

小宝島の「七島正月」の呼び方

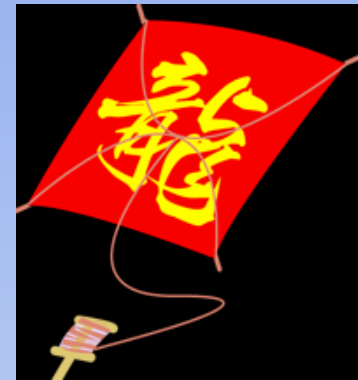
平家の
お祭り

平家
正月

十島
正月

七島正月の始まり

- 旧暦12月1日。



さつまはんのおとの様だった
島津氏が琉球（今の沖縄）に
せめた時に、正月を1月くりあげて
祝って参加したのが最初といわれる。

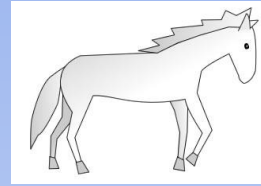
十島正月(平家の正月・平家のお祭り)

- **旧暦12月1日。**

小宝島では、平家の者(先祖)が

**旧11月17日に小宝島に流れ着き、
戦いにも負けたから早く正月をしようとい
って、旧12月1日を元旦としたとい
われている。**

ヒチゲー



一年間の作物を神様が見てまわる日。
神様は白い馬に乗ってまわる。
昔は道で明かりを灯さず，家の明かり
も小さくして，大声も出さずに静かにし
ていた。

旧暦1月6日

- 朝から、家のとびらに「トベラ」という葉をさしておく。

枝の葉をおると強いにおいがする。



ヒチゲーの日にトベラをさす意味



- 悪魔（台風・虫・悪者）を追いはらうという意味がある。
- 外に出るときは、トベラの葉をポケットなどに入れて過ごす。



旧暦1月7日の昼

- 「モイヒチゲー」という。
- 神々が集まって人にどれだけしゅうかくさせてよいか話し合いする日。

魚をどれだけと
らせてよいか

米をどれだけ
とらせてよいか

感想

小宝島のたくさんのおまつりごとを調べてみて、おまつりがたくさんあるので大変だけど、神様のために昔からでんとうを守っているのすごいなと思いました。もう少しすれば、今まで調べてきたおまつりごとが行われるので、意味をくわしく調べることができてよかったです。

でも、まだまだわからないこともたくさんあるので、これからも、本で調べたり島の人に教えてもらったりしたいです。

